

区 分	内 容
会 議 名	平成27年度 第11回庁議
日 時	平成27年8月25日（火）午前8時45分から午前9時15分まで
場 所	庁議室
件 名	【報告事項】 (1) 法令遵守に係る各部の意見（総務部） (2) 前橋市公共施設等総合管理計画の策定について（財務部） (3) 前橋市東京オリンピック・パラリンピック等推進本部の設置について（文化スポーツ観光部） (4) その他 ①前橋文学館のカフェについて（文化スポーツ観光部）
【発言者】 総務部長	【報告事項】 （1）法令遵守に係る各部の意見 今年度に入り、職員の逮捕が2件と相次いだことにより、8月4日付けで各所属において法令遵守及び服務規律の確保について話し合うことをお願いした。主な意見として、以下の3点が挙げられた。 ①不祥事が続いたことは市民に対してだけでなく、まじめに業務を行っている職員の士気を下げる要因になりかねない。②個人だけでなく、所属単位での意識改善が必要である。③市民からの信頼がなくなることで事業の停滞、士気の低下が心配される。 信頼の回復に向けては職員一人ひとりが真面目に仕事に取り組むしかない。また、研修等の機会に公務員であることの自覚や責任感を醸成、高揚させることが大切である。各部長には職員へ法令遵守の意識を徹底するように指導をお願いしたい。
財務部長	（2）前橋市公共施設等総合管理計画の策定について この計画は長期的な視点で、長寿命化・更新・統廃合などを計画的に行い、財政負担の軽減化、適切な行政サービス提供等を目指している。道路・橋りょう・上下水道施設等のインフラ資産を含めた、市が保有する全ての土地、建物、設備を対象とし、計画期間は、2015年度から2054年度までの40年間である。将来の更新費用推計については総務省が提供する更新費用試算ソフト等により、計画期間に必要な費用推計を行った。 今後、資産利活用推進委員会において、公共施設等の有効活用に関する協議、方針決定を行い、全庁的に取り組むとともに、県及び近隣市町村との連携や多様な選択肢を検討するため、民間活力導入に向けた各種取り組みも行う方針である。

	<p>また、パブリックコメントを実施し、9件の意見が寄せられた。</p> <p>今後の行政を取り巻く環境を踏まえると、財源状況は一層厳しくなることが予測される。この計画は「ヒト・モノ・カネ・情報」という経営資源のうち、「モノ（公共施設等）」について、全庁横断的にマネジメントを実施していくもので、全庁共通の課題として再認識いただきたい。</p>
<p>文化スポーツ 観光部長</p>	<p>(3) 前橋市東京オリンピック・パラリンピック等推進本部の設置について</p> <p>2019年にラグビーワールドカップ、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが日本で開催される。この大会の開催効果を本市の発展に結びつけるため、キャンプ地の誘致等によるスポーツ振興や国際交流、青少年の健全育成などの地域づくりを進めるため、推進本部を設置した。</p>
<p>文化スポーツ 観光部長</p>	<p>(4) その他</p> <p>①前橋文学館のカフェについて</p> <p>「前橋街づくり協議会」の提案である「広瀬川テラス構想」をきっかけとし、前橋商工会議所との協議を重ねた結果、社会実験として「広瀬川バル 風河（FUGUE・フーガ）」を出店することになった。8月14日（金）にプレオープンし、25日（火）からグランドオープンする。前橋文学館での様々な企画展示にも足を運んでいただきたい。</p>
<p>公営企業管理者</p>	<p>【質疑】</p> <p>前橋市公共施設等総合管理計画については今後、どのように進捗管理していくのか。</p>
<p>財務部長</p>	<p>資産利活用推進委員会で進捗管理していく。今年中にはシステムを導入し、それに基づき保全計画を策定し進める。各施設の評価と優先順位付けをし、29年度から更新費用について一定額を義務的経費に準じた形で予算化を図り、方針を決めていきたい。今後、保全計画の報告ができるよう準備を進めていく。</p>
<p>市長</p>	<p>パブリックコメントの中に、新規整備について建設事業を進める場合にはランニングコストを含めての検討が必要との意見がある。ランニングコストを縮減するような設計や併用可能性を担保した設計を考えても良いのでは。</p>
<p>財務部長</p>	<p>行政管理課で事前評価の取組みを始めており、施設を造る前にフルコストを把握した上で事業推進を図るということをやっていきたい。システムを導入すると、既存施設の長寿命化も含めて最適利用の内容</p>

	<p>もデータとして出てくるので、そういったものを活用していきたい。</p>
副市長	<p>今後、施設をそのまま更新するのか、廃止するのかという議論が出てくる。その部分が課題であるので、少しずつ行っていくしかない。</p> <p>資産利活用推進委員会でも数値目標を示すか議論したが、ある程度システム化ができ、先が見えた段階で総量の数値、目標などを再度検討することとした。</p>
教育長	<p>全体の予算の平準化という発想も含めているのか。</p>
財務部長	<p>含めている。予算の平準化をしていかないとうまくいかない部分もある。システムを活用すると、優先順位が明確になってくると思う。</p>
副市長	<p>各部局でも、どの施設を減らしていくのか、更新していくのかなど考えを持っていただきたい。</p>
財務部長	<p>対外的な周知についても、来年度はシンポジウムやワークショップなどの開催を予定して進めていきたい。</p>
市長	<p>縮減方針は早いうちに明示していただきたい。</p>
副市長	<p>「広瀬川バル 風河（FUGUE・フーガ）」のオープニングレセプションに出席したが、大変良い雰囲気、周囲の評判も良いようである。広瀬川周辺が明るく、賑やかになるということは前橋市にとっても重要なことだと思うので、ぜひ利用してほしい。</p>
市長	<p>移住ナビについては、本市が「ローカルホームページのアクセス状況」で4位、「プロモーション動画のアクセス状況」で5位と高順位である。移住にふさわしい都市であるというメッセージが発信できると思う。</p>
	<p style="text-align: right;">以 上</p>